



神戸学園都市 ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF KOBE GAKUENTOSHI
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2021年2月 (通巻320号)

< 主題 >

- ・神戸学園都市クラブ会長：柴田昌一：「みんなでチャレンジしよう」
- ・国際会長：Jacob Kristensen (デンマーク)：「命の川を信じよう (Trust in the river of life)」、スローガン：価値観、リーダーシップ、エクステンション
- ・アジア太平洋地域会長：David Lua (シンガポール)：「変化をもたらそう (Make a difference)」
スローガン：奮い立たせよう
- ・西日本区理事：古田祐和 (京都トウビー)：「Let's do it now,
2022に向けて誇りを持って All is well」
- ・六甲部長：安行英文 (さんだ)：「行動に信念を、信念は行動に」
Believe in what you do. Do what you believe in.
- ・2021年2月強調活動：TOF CS FF：藤好基子 地域奉仕・環境事業主任 (大阪なかのしま)
「一人一人の思いが、環境を守り、命を救います。全ての献金を忘れずにご協力をお願いいたします。」

2月第1例会

- ・日時：2021年2月18日(木)19:00～
- ・場所：西神戸YMCA
- ・内容：ヨガ教室
講師 丸山インストラクター

< 今月の聖句 >

「大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。」
(コリントの信徒への手紙1 3章 7節)

2月誕生者 おめでとう!

- ・藤井久子 メンゴ主人
(2/8)

1月の出席状況

第一例会 休会
臨時事務例会 8名

7月～累計ファンド

・CS(年賀切手)	0円
・TOF(断食)	0円
・FF(家庭の断食)	0円
・BF(古切手)	0円
・東日本募金	0円
・Yサ・ASF	0円

[役員] 会長：柴田昌一、直前会長：杉本隆人、書記：杉本隆人、会計：中村 剛、連絡主事：櫻井英治
[委員] 地域奉仕・環境：内田邦彦、Yサ・ユース：森本哲男、交流：隠樹圭子、ファンド：丹家元陽、仁科拓巳
EMC：藤井久子、広報・ブリテン：田辺征一、メネット：合田洋子、メール委員：田辺征一、
[六甲部役員] 西日本区JWF委員会委員：杉本隆人 [IBC] 台湾高雄ポートクラブ (2004年1月締結)
[DBC] 東京武蔵野多摩クラブ (2011年6月締結) [DBC] 岡山クラブ (2018年6月締結)

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町2-1-3 TEL 078-793-7402 FAX 078-793-7470
事務例会：第1木曜日、第1例会：第3木曜日、クラブホームページ

<http://www.kobeymca.org/ys/gakuen/bulletin.html>

<2月事務例会報告>

日時：2021年2月4日(木)18:00~18:45

場所：西神戸YMCA

出席：内田、櫻井、柴田、杉本、田辺、丹家、中村、野呂、

報告事項

(1)本日の例会前に倉庫にあるクラブ関係の備品を整理。

(2)3月24日(水)、ピンクシャツデー。

(3)3月6日(土)13:00~18:30、西日本区次期会長・主査研修会、大阪コロナホテル、リモート開催。

(4)3月19日(金)18:30~ 六甲部会長と神戸YMCA 総主事懇談会、リモート開催。

(5)3月28日(日)六甲部評議会 リモート開催。

協議事項

(1)2月例会「ヨガ教室」2月18日(木)19:00~20:30、集合18:45、

(2)今後の例会

3月、4月未定

その他

長期例会欠席者へ会費振込をお願いします。

YMCA報告

(1)日本YMCA大会 2021年2月23日(火)
第一部14:00~15:00、リモート視聴会場：
神戸YMCA、参加締切2月17日(水)

(2)YYまつり 10月16日(土)

(3)チャリティラン 11月23日(火)

(4)神戸YMCA大会 6月19日または26日(土)

<寄稿>

「ジブラルタル海峡クルーズと色彩の

王国モロッコ11日間」 (第8回)

08月28日(水)

朝食後もテラスレストランで。キューリ、トマト、ヨーグルト、ゆで卵、そして揚げパンが美味。いつものフレッシュオレンジジュースもお代わりで。今日の案内はベルベル人のムサさん。世界遺産アイト・ベン・ハッドウに今も住んでおられる3家族の中での有名人。ホテルの前の川、巾約100mを渡る。今は乾期で水は全くない。川床には所々白い所があり、塩が浮き出ている。この村は日干しレンガ造りの古いクサル(要塞化した村)で、中は迷路のようになっていて、小高い丘の頂上には、いざという時の為の食糧倉庫がある。分厚いレンガなので夏は涼しく、冬は暖かいという。この村のすぐ横で「グラディエーター」が撮影さ

れ、主演のラッセル・クロウが一躍有名となったとの事。その他に「インディジョーンズ」「ザ・バイブル」etc.そして、この村に小さなアトリエを構えている人がおられた。サフラン水と水溶性砂糖で絵を描き、バーナーを調節しながら、焙り出しで砂漠の情景を色々表現しているのが見事。思わず1枚購入。額装するのが楽しみ。次にムサさんの家に招待されて熱いミントティーとアーモンドを頂く。バスはHAUT ATRAS(オートアトラス・アトラス山脈の中央部分)の曲がりくねった道を登っていく。片側は例の切り立った岩山、そして反対側は深い谷が見える。所々にガードレールはあるがとても役に立つとは思えない。標高2260mのティシュカ峠を越えると下り坂。この道は主要道路なので至る所でヘアピンカーブを少しでもましにすべく工事をしている。日本ならばこれはトンネルにするだろうと思われる所でも岩山を切り開いて、土は下の谷に落としていく。費用を考えると、さもありなん。

北のタンジェから約2000km位走ってきたが、トンネルは1つもなし。下り坂のドライブイン・レストランへ。ここでは北部で採れたアルガン(モロッコにしか自生してなくてヤギが木に登っている写真が有名)の実から種を取り出し、それを石臼で挽く作業の実演。ドロツとしたピーナツバター様のもので出てくる。これが美容と健康にいいらしい。昼食の最初に、例の素朴なパンにペースト(アルガン、すりつぶしたアーモンド、蜂蜜のミックス…ピーナツバター+蜂蜜のような味)を塗るといくらでもパンが食べられる。前菜はスープ(カボチャ、豆etc.)をミキサーにかけた感じ。次のオムレツのタジン(ドライトマトの上に溶き卵を流し込み、オリーブと香草をまぶす)も美味。次は牛肉のタジン(骨付き牛肉、人参、ポテト、オリーブ、トマトにアルガンオイル)をリンゴジュースで頂くとは勿体ない話。デザートは白いマラケシュメロン。ここで、アラガンオイルとパン用ペーストを買う。バスはヘアピンカーブを實に見事にクリアして、オート・アトラスを抜けMarrakechの街へ。ここマラケシュは内陸ながら西の大西洋側から、そして東のサハラ砂漠からあらゆる人々や品物が集まる、モロッコではフェズに次いで2番目に古い街である。11世紀には都として栄えた。街の中にもかかわらず広大なオリーブ畑が広がり、その先の約200m四方の貯水池(昔は避暑用)の横の宮殿はスルタンのデートスポットだったとの話。アグノウ門から

メディナ（旧市街）に入る。そこにそびえ立つクトゥビアの塔は高さ約 77mでその彫刻が素晴らしい。この街も迷路。この中央に位置するのがジャマ・エル・フナ広場。まず中央に果物屋さん、ジュース屋さん、オリーブやオリーブオイル、美容品を売る店、陶器屋さんとかの屋台が、所狭しと並ぶ。その周りに水売りの人、シャボン玉売り、そして極めつけが例のヘビ使い。太いヘビを客の首に巻き付けたり、なんとも怪しげな笛の音と共に、地面でとぐろを巻いていたコブラが立派な首を広げて立ち上がる。近づく勇氣はなく、少し離れた所からの見物。更に広場の周りには革製品の

店、金物屋さん、服屋さん、そしてレストランが軒を並べて、実に雑多な喧騒の世界。レストランの2階のテラスから熱いミントティーを飲みながらのしばしの一時。夜になると更に賑わうとの事。今夜のホテル ATLAS MEDINA & SPA は中庭のプールの周りにナツメヤシを配した近代的なホテル。カラッカラの喉にカサブランカビールが飛び込んでいく至福の一時。料理はビュッフェ方式。タジンから解放され数十種類の中からチョイスでき、ゆったりと頂けた。

（丹家元陽）

< 今月の聖句 >

**「大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、
成長させてくださる神です。」**

（コリントの信徒への手紙1 3章 7節）

コロナ禍が続き、例会に集えない日が続きます。ZOOMやネットを活用して活動を継続していかねばなりません。まだ終わりが見えないコロナとの日々を過ごしています。あたりまのことがあたりまえでなかった。なにも感じずに過ごしてきた日々が、恵みにあふれていたことに気がつかされました。ワイズ活動のつながり、出会い、そして集まることの大切さを実感しています。「たいせつなこと」という絵本を読みました。その一節です。「くさは みどり くさは おおきく のびて あまく あおい においで やさしく つつみこんでくれるでも くさに とって たいせつなのは かがやく みどりで あること」。なるほどだと思いました。ワイズにとって「たいせつなこと」って何だろう。人から見て大切なことと、自分にとって大切なことは違うのだなと。自分が自分として大切にしていることを考えようと思いました。ワイズ活動も何が大切かを教えられる日々がもう少し続きます。

西日本区チャプレン 立野 泰博（熊本ジェーンズ）
西日本区理事通信2021年2月号から転載